リーダーシップ道場2016
５．チームでの発想支援の体験：発散型と収束型

ブレーンストーミングとKJ法実習

「英語上達3か条」づくり

2016年7月13日

リベラルアーツ研究教育院

今日のねらい

- 多様な人々の協働や創造的な話し合いを支援できるよう、拡散と収束のスキルを学ぶ。
- 拡散手法「ブレーンストーミング」を用いて、「もっと英語が上手になるには？」をテーマにたくさんのアイデアを出す。
- 収束手法「KJ法」を用いて多くのアイデアを整理し、最後に「英語上達3か条」にまとめる。

アジェンダ

• オリエン	1045～1055
• ウォーミングアップ	1055～1110
• ブレーンストーミング実習	1110～1125
• KJ法実習	1125～1150
• 「3か条づくり」と発表	1150～1210
• グループふりかえり	1210～1215

作業イメージ

＊プログラム開発風景より

英語上達3か条

2016年
7月13日

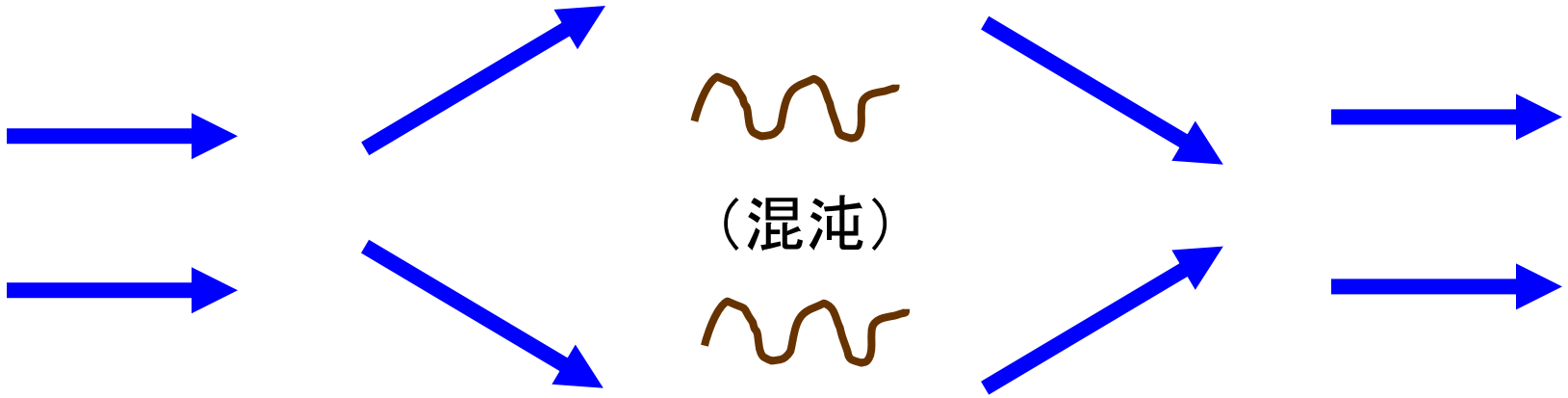
グループ名：　　メンバー：

最後の
アウトプット
イメージ

創造的な活動の基本プロセス

多くの話し合いは、共有、拡散、（混沌）、収束、再共有を経ていく。

1．共有　2．拡散　3．収束　4．共有



情報の共有

課題の共有

お互いの考えや人を知る

アイデアを広げる

様々な可能性を探る

ブレストなど

生みの苦しみ

創造的混沌

Creative Caos

議論し、考え抜く

＊今回は略

まとめる

整理する

絞り込む

KJ法など

合意事項を、文章などできちんと確認し共有する。

拡げるブレスト、まとめるKJ法

- ブレインストーミング(brainstorming)
  - 集団でアイデアを出し合い、相互作用のなかで豊かな発想を誘発する技法。
    - アレックス・F・オズボーンが1953年の著書で使用。
  - 四原則が有名。ブレスト、BS法などと略される。
- KJ法
  - 文化人類学者で東工大名誉教授の川喜田二郎が、データをまとめるために考案した手法。イニシャルから命名。
  - データをカード（ポストイット）にひとつずつ書き、似ている内容のカードをグループにまとめ、図解したり文脈を作ったりして整理し、プレゼンや論文にまとめていく。

ブレーンストーミングの4原則

- 批判厳禁：
  - 頭ごなしに否定しない。「なるほど」「それもあるね」の精神。
- 質より量：
  - いきなり良いものは出ない。とにかくたくさん出してみる。
- 自由奔放：
  - 遠慮は全く不要。頭を柔らかく、突拍子もないものをこそ。
- 連結歓迎（結合改善）：
  - 人のアイデアにどんどん便乗。それならこれもあるでしょ！

ブレスト実習
ウォーミングアップ

- 問い:「丸いもの」といえば？
  - 限られた時間で、できるだけたくさん出す。
  - 四原則:批判厳禁、質より量、自由奔放、連結歓迎、を忘れずに！
  - 主に「書く人」を決める。その人も発言可。
    - えんたくん用紙に、皆に見えるようマーカーでどんどん書く。
    - 同時にたくさん出て一人では追いつけない場合、二人で
    - 書いていると発言しにくいので、途中で交代できるとベター。
- さて、2分で一気にいきます。用意、スタート！
- 2分後、さて、どれくらい出たかな？

ブレスト実習ウォーミングアップ（つづき）

アイデアを確認し、データ化

- アイデアを一つ一つざっと見直す。
  - ダブりは取り、ほぼ同じものは一つに、意味不明は確認し、全くおかど違いのものは消す、など軽く整理。
  - 確認したものは黄色やオレンジのマーカーで囲む。
- 黄色のポストイットに一件一葉で書き、データ化。
  - マーカーで、読みやすいようにはっきりと。
  - 皆で手分けして書き、一気にデータ化する。
- 似ているカードを集め、「島」にくくってみよう。
  - 実際にマーカーで丸く囲ってみるところまでで終わり。

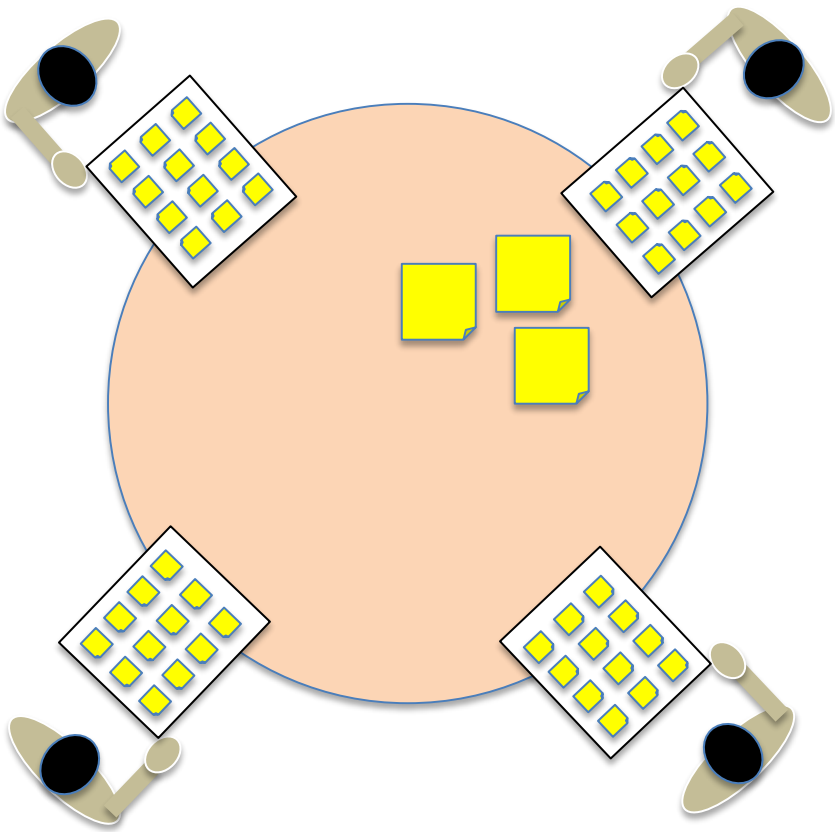
ブレスト実習本番
「英語上達3か条」に向けて

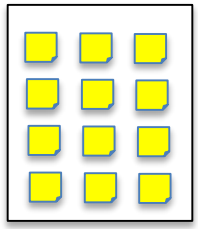
- 問い:「もっと英語が上手くなるためには、どうしたらいい？」
  - 5分（＋1分）で。（あまり時間をかけすぎず、一気に集中がミソ）
  - 4つの原則を忘れず、30個以上は出してみよう！
  - 単語より主語・述語のある短文で、意味を明確に。
  - 主に「書く人」を決める。その人も発言可。
    - えんたくん用紙に、皆に見えるようマーカーでどんどん書く。
    - 同時にたくさん出て一人では追いつけない場合、二人で
    - 書いていると発言しにくいので、途中で交代できるとベター。（書くのを待ってるとアイデアが止まる）
  - 終了後、一応数えてみる。

拡散から収束への基礎作業：
アイデアを確認し、データ化。

- アイデアを一つ一つざっと見直す。
  - ダブりは取り、ほぼ同じものを一つに、意味不明は確認し、全くおかど違いのものは消す、など軽く整理。
  - 抽象的な単語より、主語述語ある短文が後で役立つ。
- 次のKJ法での整理に向け、黄色のポストイットに一件一葉で書き出しデータ化する。
  - マーカーで、読みやすいようにはっきり大きく。
  - 勝手に要約したり単語化しない。主・述ある短文で。
  - 皆で手分けして書いて一気にデータ化。

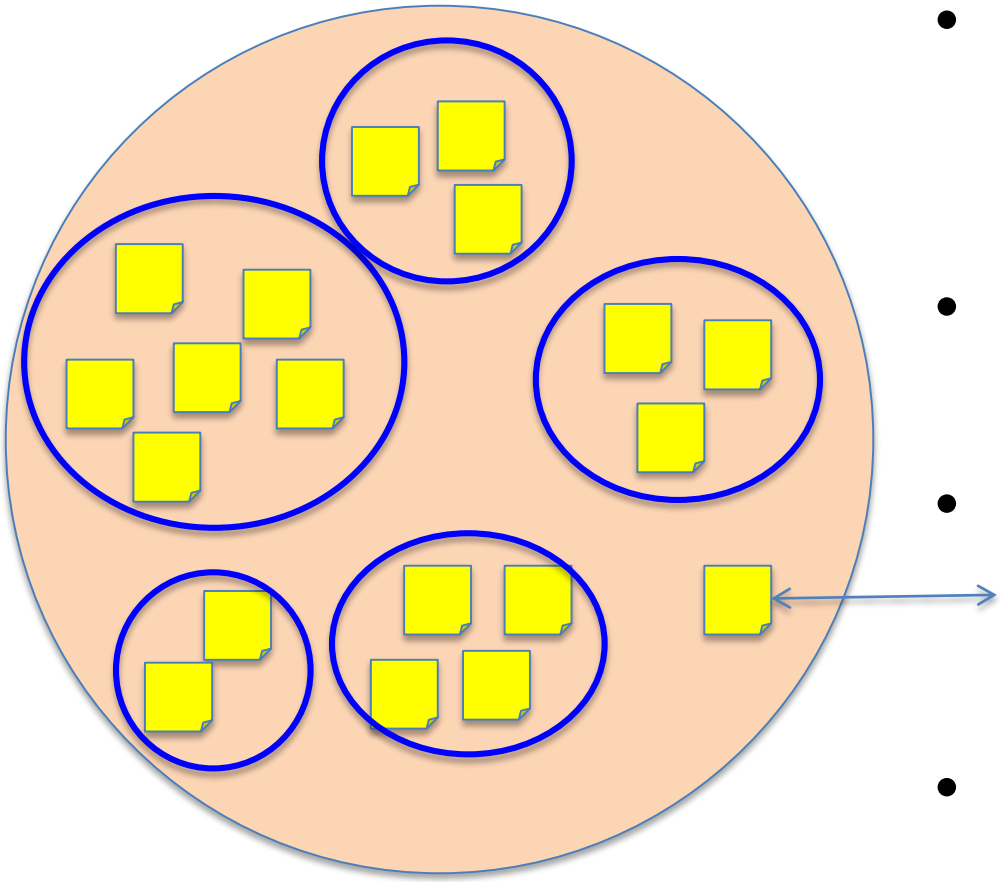
KJ法まとめ作業①
カードを出し、似ているものを近くに貼る





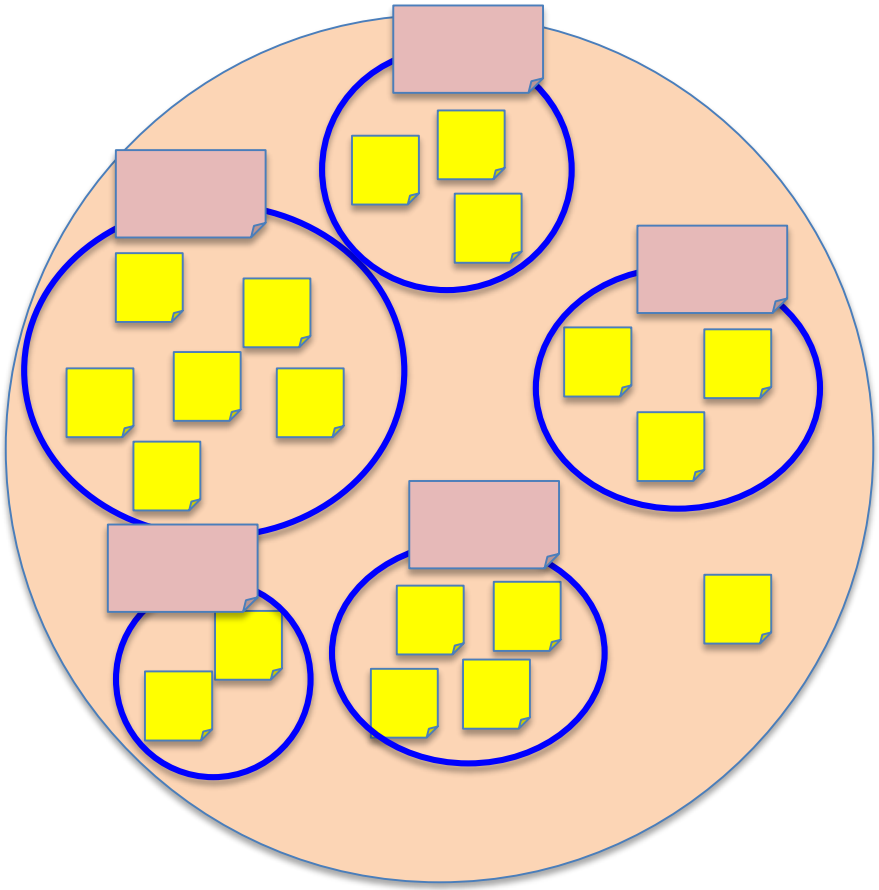
- 書き写したカードを等分に分配し、各自A4紙に貼っておく。
- 一人ずつ、カードを読み、えんたくん用紙のどこかに貼る。
- 出されたカードに対し、意味が近いカードがあれば、そのそばに読みながら貼っていく。
- 文言＝文字ズラでなく、「意味をして語らしむ」＝意味で分類
- 近いものなければ、順に次の人がカードを出していく。

KJ法まとめ作業②
似ているものを「島」としてくくっていく。



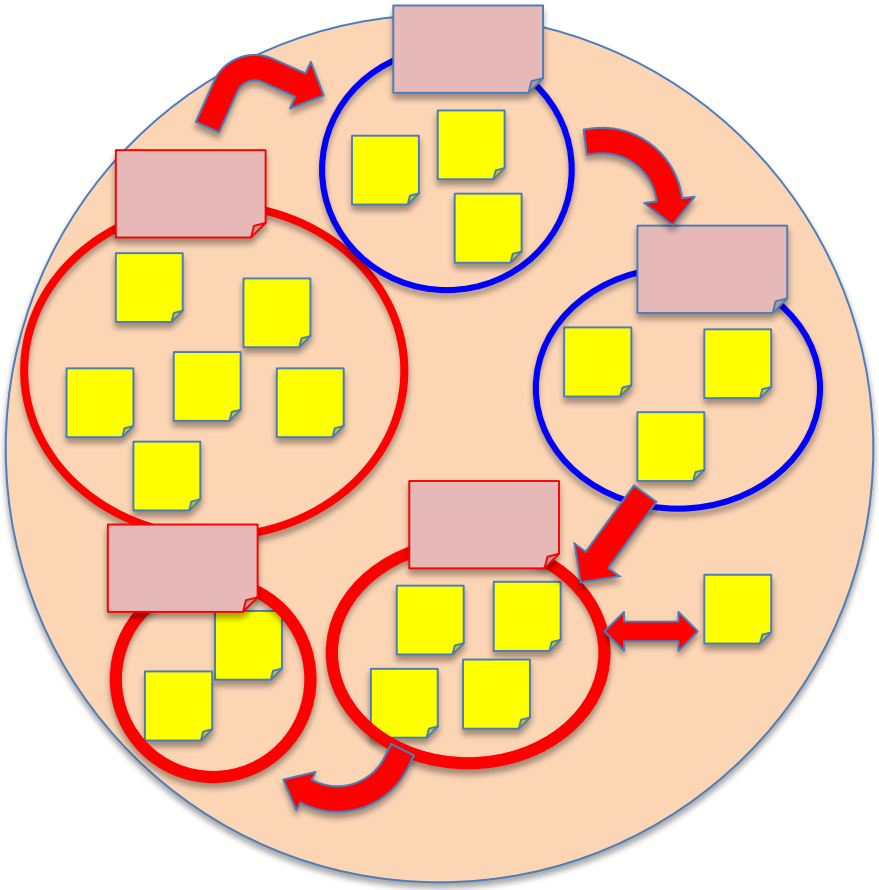
- 似ているもの近いものを集めて「島」(グループ)として、くくっていく。
- 「島」全体をよく表わす「見出し」を考えながら。
- 無理に集めず、一枚残るのもOK。
  - 「離れ小島を大切に」
- 7つ以下になると良い。
  - 多い場合は繰り返す。

KJ法まとめ作業③
島に新たな「見出し」をつけていく。



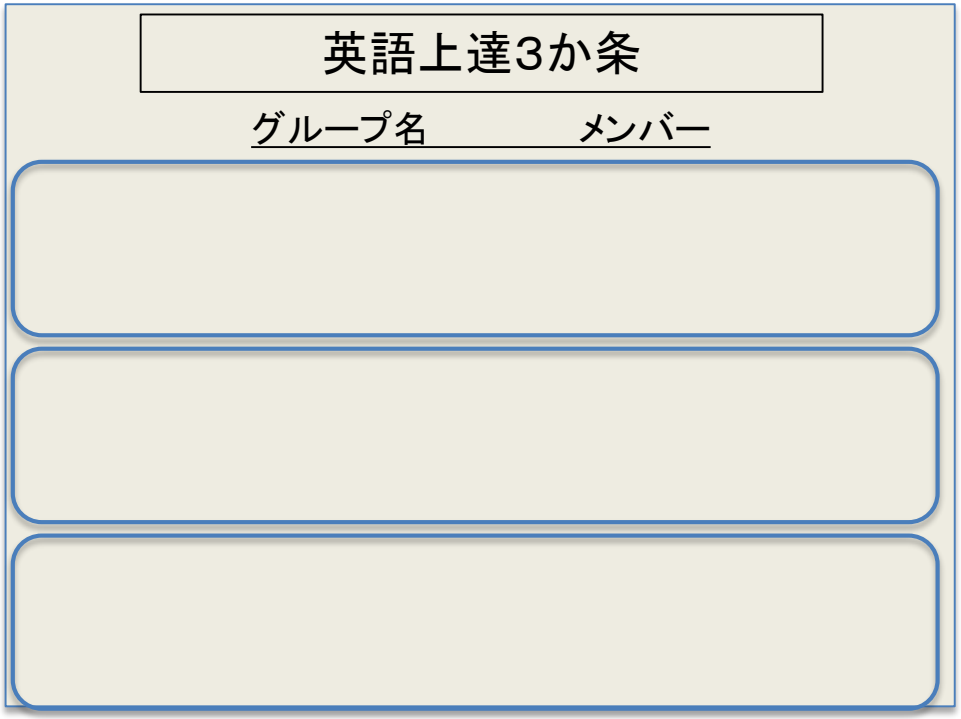
- その「島」全体の意味を的確に表現する「見出し」（文章）を書き、他の色の大きなポストイットに書いて貼る。
- 「整理のコツ」参照！
  - 単語にしない！
  - 抽象化しすぎるとせっかくの特徴が失われる。

KJ法まとめ作業④
島の関連、文脈を作る。今日は3つを選ぶ。



- 島同士の関連を考え、矢印などで順番や関係を整理し、文脈やストーリーを作ってプレゼンや文章化に使うのが本来。
- 今日は重要なものから、優先順位をつけて3つに絞り込もう。
  - 「3か条」シートへ明解な文章でまとめよう。

KJ法まとめ作業⑤
「英語上達3か条」づくりとプレゼン



- グループごとに「3か条」を明解に文章化。
- （各自、自分のシートにもまとめておく）
- 近くのグループと発表しあう。

英語上達3か条

2016年
7月　日

グループ名：　　メンバー：

ふりかえり

- 最後にグループでふりかえり
  - 拡散・収束作業のプロセス全体をふりかえろう。
    - 拡散で存分に発想し、話せたか、聴けたか。
    - 収束で、まとめ作業や文章化に貢献できたか？
  - どんな時にグループで創造的な展開が起きたか。
- 今後に向けて
  - 協働作業や創造的な話し合いの場で、ブレストの四原則やKJ法を活用し、どんどんリーダーシップを発揮していきましょう！
  -